

向き合っ、学び合っ、未来をつくる下永谷

学校通信

4月号



し も な が や

令和5年4月7日 発行

横浜市立下永谷小学校

学校教育目標「向き合っ、学び合っ、未来をつくる下永谷」

校長 鈴木 陽一

この春は、季節を先取りしたような暖かな日が続いています。昨日、春らしい日の中、1年生114名が入学しました。本日の始業式には、2年生から6年生702名が、新しい学年に向けて、希望に燃えて目を輝かせながら登校してきました。全児童816名のスタートとなりました。ご入学・ご進級おめでとうございます。

今年度も学校目標「向き合っ、学び合っ、未来をつくる下永谷」に向かって、教育活動を工夫して進めていきます。感染症対策の制限もだいぶなくなってきました。子どもたち同士が気持ち向き合わせながら学びを創れるようにしてまいります。教職員も、子どもたちや保護者の皆様・地域の皆様と真摯に「向き合い」、子どもたちが「学び合える」学習の工夫を進めるとともに教職員自身も学び合っしていきます。そして、子どもたちの「未来」を保護者の皆様や地域の皆様とともにつくっていきたくと考えます。

今年は、昨年に引き続きESDの推進も視野に入れ、本校の特徴でもあるネイチャーワールドの活用した取り組みをさらに進めてまいります。昨年度は、ペア活動などで落ち葉を集め、腐葉土づくりに取り組むなどの活動を試みました。校内の自然を生かした教育活動を展開し、子どもたちが自然に触れあいながら子ども同士のかかわりを深められるような取組を今年度も工夫していきたく考えています。それらの活動を通して、自然環境や環境問題などにも目が向けられ、自分事としてとらえられるようにしていけたらと考えます。

そして、タブレット端末を活用しての授業の取り組みもさらに進め、子どもたちの興味・関心が学習に向くような工夫を重ねていきます。授業だけでなく、校務や、保護者の皆様との情報共有ともICTの活用をさらに進めてまいりたいと考えています。

子どもたちは期待を胸に抱いての学校生活の出発となりますが、お子さんも保護者の皆様も不安を抱えていることもあるかと思います。何かご不安なことがありましたら、担任だけでなく児童支援専任をはじめ教職員の誰でも構いませんのでお声掛けください。ともに考え解決していきたいと思ひます。

教職員一同、保護者の皆さんや地域の皆さんとともに子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。ご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。